

No.	大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
1	植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科	わじま あや 和嶋 亜弥	<p><u>ピアヘルパーサークルのサークル長として中高生の居場所カフェの運営に携わり、参加者の声に耳を傾けながら、誰もが安心して過ごすことができ、参加者が他の参加者やスタッフとの繋がりを感ぜられる居場所づくりに取り組んだ。</u></p> <p>学業面でも優れた学習成果と真摯な取り組みが認められ、成績上位者を対象とした「在学学生スカラシップ」を令和5年度から令和7年度までの3年間授与されている。</p> <p>そのほか、大学初の認定心理士資格の取得を目指し、心理学の学修に精進するとともに、オープンキャンパス等を通じて発達教育心理コースの魅力発信などの広報活動に取り組み、卒業研究では自らインタビュー調査を実施し卒業論文の執筆を行った。</p>
2	神田外語大学 外国語学部 アジア言語学科 中国語専攻	たなあみ ゆみ 田名網 祐実	<p><u>中国語・英語の高い語学力を活かし、市内駅ビルの外国人スタッフ向けに非常時対応の初動ツールを中国語に翻訳し、外国人スタッフが安心して働き、暮らすことのできる環境づくりに貢献した。</u>また、台湾からの訪日団に対する通訳対応や、「スイス・クリスマスマーケット in マクハリ 2025」における日・英・中三言語での来場者案内などにも取り組み、語学力を地域社会に還元することで、本市における多文化共生や国際交流を推進した。</p> <p>学業においても、通算GPAも極めて優秀な数値を記録するとともに、TOEICや「ハングル能力検定準2級」、「登録日本語教員」などの複数言語の資格取得にも意欲的に取り組んだ。</p> <p>学内外の活動では常に誠実かつ責任ある姿勢で臨み、状況に応じた適切な判断と丁寧なコミュニケーションによって関係者からの信頼も厚く、学業成績・人物評価の両面において高く評価されている。</p>
3	敬愛大学 教育学部 こども教育学科	かとう りんか 加藤 凜花	<p><u>教育ボランティアや「パラスポーツフェスタちば」、小学校模擬選挙等に積極的に参加したほか、震災学習スタディツアーには4年間欠かさず参加するなど、高い意欲と関心を持って社会貢献活動に取り組んだ。</u></p> <p>学業においても優秀な成績を収め、異文化コミュニケーションや外国語科目の修得にも熱心に取り組み、異文化や多様性への理解を深めた。</p> <p>「ちば教職たまごプロジェクト」や学校ボランティアの活動を通して、将来の職業として目指している教育現場での社会貢献に努め、卒業後も学びの成果を大いに発揮することが期待される。</p>
4	淑徳大学 総合福祉学部 教育福祉学科	ほその ゆうすけ 細野 裕介	<p><u>「長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会」において、学生実行委員として4年間継続的に活動し、学生間の調整を行うとともに、本市や施設管理者等の多様な関係者と主体的に連携・調整を図り、円滑な大会運営を実現した。</u></p> <p>また、大会運営の過程で得た知見や反省についても、運営マニュアルの作成及び後輩への共有を行い、学生実行委員会の継続性の確保にも尽力した。</p> <p>学業面でも授業に積極的に出席し、4年間を通して安定した成績を得た。学業や資格取得に真摯に励む姿は他の学生の模範となり、教員からの人望も厚い学生である。</p>

No.	大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
5	千葉大学 文学部 人文学科 行動科学コース	こふじ ななこ 小藤 那奈子	<p>学内・地域の環境改善や、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた様々な活動を学生主体で行う「環境ISO学生委員会」に参加し、1年次には千葉市フェアトレードタウン推進や児童向け児童向けフェアトレード啓発企画の責任者を務めた。2年次にはSDGs意識向上を目指す企画である「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」のプロジェクトリーダーとして環境意識の啓発活動を実践し、3年次では環境ISO学生委員会の副委員長として委員会活動全般で中心的役割を担いながら、本市のフェアトレードタウン認定に向けて、本市と連携しながら様々な活動に取り組み、引退後も後輩の指導にあたっている。</p> <p>環境意識の啓発やSDGs達成に関して高い志を持って環境ISO学生委員会での活動に取り組み、持続可能な地域社会の構築に貢献した</p>
6	千葉経済大学 経済学部 経営学科	むらもち ゆういち 村持 佑一	<p>1年次から3年間、「ちば産学官連携プラットフォーム」の食糧支援事業に参加し、食品配布ボランティアを継続的に行い、3年次には「フードバンクちば」にて、加盟大学への食品配付作業にも従事した。また、和菓子店「なごみの米屋」とのオリジナル羊羹の共同開発に参加し、その羊羹は自らもボランティアとして参加した大学近隣のマンション自治会主催の夏祭りでも販売されるなど、地域活性化に貢献した。</p> <p>また、学内活動においてはオープンキャンパス研究部部長として学内見学対応や新入生向けツアーを企画・実施した。</p> <p>加えて、2年間学生選書委員も務め、学生目線での「おすすめの本」の選書や、分かりやすい紹介文・ポップの作成などに取り組み、他の学生が読書に関心を持てるような環境づくりに尽力した。</p>
7	東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科	おしお めい 押尾 芽愛	<p>本市の魅力発信を目的としたPR動画制作において中心的役割を果たした。千葉公園の旧野球場跡地に整備された芝庭とPIST6を取り上げ、若年層や女性が親しみを感じられるPR動画を演出し、効果的な広報に貢献した。卒業制作においても、自身のルーツとなる市内の街と家族を題材にドキュメンタリー映画の製作に取り組みなど豊かな表現力と地元への愛着を兼ね備える。</p> <p>学業面では優秀な成績を修めるとともに、何事にも真面目に取り組む努力家で、周囲の学生への細やかな気配りもでき、他の学生の模範となる学習姿勢が認められる。</p>
8	敬愛短期大学 現代子ども学科	かまがみ ゆい 鎌上 結衣	<p>絵本の魅力を学内外の子どもたちへ積極的に伝える「絵本コンシェルジュ」として市内9か所の保育所や幼稚園などを訪問し、子どもの年齢や興味に合わせた読み聞かせを行い子どもたちに絵本の楽しさを伝える活動に意欲的に取り組んだ。</p> <p>また、地域の親子に対しても絵本の読み聞かせ企画を提供するなどして地域の子育て支援にも貢献した。</p> <p>学業にも真摯に取り組みつつ、「絵本コンシェルジュ」の代表としてメンバーをまとめ、活動計画の企画立案や各種調整を的確かつ円滑に遂行した。何事にも着実かつ粘り強く取り組む姿勢が高い評価を得ている。</p>

No.	大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
9	千葉経済大学 短期大学部 こども学科	おおえ はると 大江 陽斗	<p>市内小学校の学習ボランティアやスポーツフェスティバル、保育園でのフィールドワークにおいて、常に高い責任感をもって積極的に子どもたちに寄り添い、子どもたちだけでなく広く関係者から深い信頼を寄せられている。地域の小学生や幼稚園・保育所の子どもたちが作品づくりを行う「こども造形教室」においても、入念な事前準備に基づいた的確な支援により子どもたちの豊かな創造性を引き出し、本市の将来を担う人材育成に尽力するなど、教育現場や地域活動において、多大な貢献を果たした。</p> <p>学業でも高い学習意欲を持って優秀な学業成績を収め、他の学生の範となる学生生活を送った。</p>
10	千葉明德短期大学 保育創造学科	ほりぐち ゆみ 堀口 夢実	<p>ボランティアサークルを設立し、障害福祉施設のバザーにおけるボランティア活動や障害のある子供たちとの積極的な交流に取り組み、地域における共生社会の実現に貢献した。また、韓国で開催された国際青年キャンプにも自主的に参加し、多様な国々からの参加者との交流を通じてグローバルな課題に関する見識を深めた。</p> <p>授業内容も楽しみながら学業に励み、優秀な成績を収めている。品行方正かつ好奇心旺盛で、何事にも前向きに取り組む姿勢は他の学生からも厚い信頼を得ており、卒業後も活躍が十分期待される。</p>
11	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科	たかやま はると 高山 晴翔	<p>東京2020パラリンピック大会を契機に創設された「パラスポーツサポート部」の代表学生として、「パラスポーツフェスタちば」や「千葉市オープンボッチャ大会」のボランティアに1年次から積極的に参加し、本市のパラスポーツ普及に貢献した。</p> <p>また、学生目線での問題意識や感性を生かして特色ある記事づくりを行う「CHIBA UNIVERSITY PRESS」(千葉日報)の活動においても、学生記者として「現代社会とスポーツの関わり方」をテーマに意欲的に取り組んだ。</p> <p>学業面では常に優秀な成績を収め、「健康運動実践指導者」や「初級パラスポーツ指導員」などのスポーツに関係する資格を複数取得するなど、高い学習意欲を有している。パラスポーツサポート部においても、各種イベント等に参加する際に学生のリーダーとして教員との調整や学生の取りまとめを率先して行うなど、模範的行動を実践した。</p>
12	千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科	やざわ あやこ 矢澤 彩子	<p>本市と共同で「ごみの分別収集の周知啓発におけるインフォグラフィックの活用」に関する研究を行い、外国人留学生がごみの分別に関して困るポイントをインタビューを通して抽出し、その対応策として啓蒙カードゲームの開発を行った。作成後も外国人留学生とともにカードゲームの質の向上に向けて検証を重ね、今後は外国人留学生等が通う学校に配布を検討するなど、地域における多文化共生や外国人のごみ分別マナーの向上に貢献した。</p> <p>学業に関しても熱心に取り組み、優秀な成績を収めている。その他ゼミナール活動や研究室のプロジェクトにおいても常に意欲的に取り組み、他の学生の手本になる学生といえる。</p>